

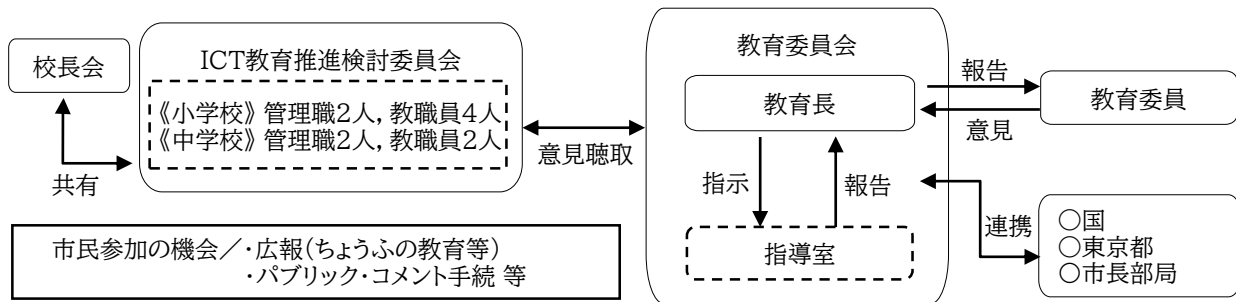
1 策定趣旨

- 人工知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things(IoT)等の高度情報化による社会的変化が激しく、将来の予測が難しい現代において、児童・生徒には、情報や情報技術を受け身で捉えるのではなく、主体的に選択し活用していく力が求められる。
- そのためには、学習指導要領において「学習の基盤となる資質・能力」として位置付けられた情報活用能力を育成していくことが必要であり、学校教育もその変化に対応しなければならない。
- また、令和元年6月、「学校教育の情報化の推進に関する法律」が公布・施行され、同法第9条において、自治体による学校教育情報化推進計画の策定が努力義務とされた。
- このような背景を踏まえ、本市における教育委員会、学校など学校教育に関わる主体が、共通の認識をもち、「情報活用能力の育成(情報教育)」、「教科指導におけるICT活用」、「校務の情報化」の3つの側面から構成される教育の情報化に取り組み、教育の質の向上することを目的とし、本計画を策定する。

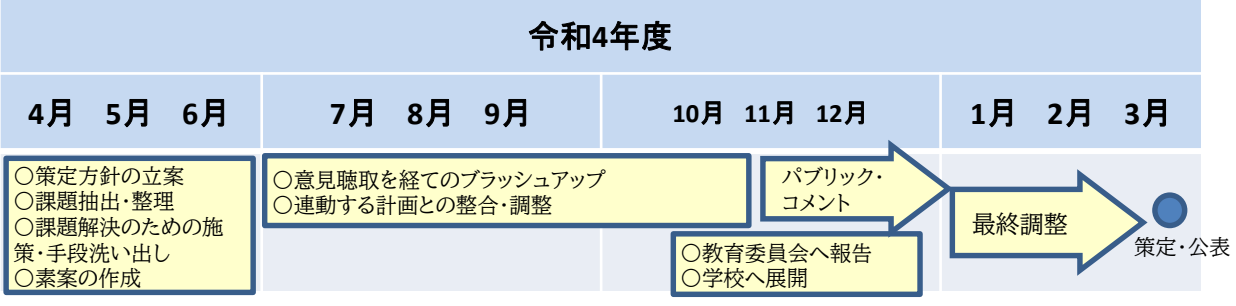
2 位置づけ・計画期間

- 第6次総合計画(基本構想及び基本計画)及び第4期教育プランとの整合
- 第4期教育プランの実施計画として位置づけ
- 調布市立学校における働き方改革プランの計画の考え方を反映
- 計画期間は、令和5(2023)年度から令和8(2026)年度までの4年間

3 検討体制



4 策定スケジュール



5 国・都の動向

- 学習指導要領 (2)GIGAスクール構想
- 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(中教審答申)
- 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン (5)教育データの利活用等
- TOKYOスマート・スクール・プロジェクト(東京都の動向)

6 現状と課題

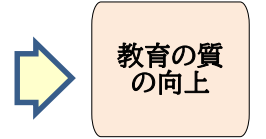
- 整備状況 (2)教育の情報化調査等から抽出 (3)ICT教育推進検討委員意見から抽出

7 基本方針

市の課題及び教育の情報化による教育の質の向上という本計画の目的を踏まえ、教育の情報化の3つの側面である「情報活用能力の育成(情報教育)」、「教科指導におけるICTの活用」、「校務の情報化」を本計画の基本方針とする。併せて、上記3つを実現する基盤として、「ICT環境整備の推進とセキュリティ対策の強化」を位置付け、施策の推進を図る。

【基本方針】

- 1 児童・生徒の情報活用能力の向上
- 2 教員のICT活用能力の向上
- 3 働き方改革の実現
- 4 ICT環境整備・セキュリティ対策



8 施策内容(案)

1 児童・生徒の情報活用能力の向上に向けて

<目指す姿>
子どもたちの誰もが、いつでも、どこでも、安全にICT機器を使って、それぞれが見出した課題に取り組み、自らの考えや意見を相互に伝え合いながら、学びを広げ深めています。

番号	取り組み内容	要素
1	情報活用スキルの習得	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
2	情報モラル教育の展開	情報モラル教育について、年間指導計画に位置付け(SNSルール含む)
3	プログラミング教育の推進	論理的思考力を身に付けるためにプログラミング教育
4	特別な支援を必要とする児童・生徒のICT活用	個別最適な学習の実現のためにICT活用を推進

2 教員のICT活用能力の向上に向けて

<目指す姿>
ICTの活用によるカリキュラム・マネジメントの充実やこれまでの授業実践の共有などにより、子どもたち一人一人が興味・関心や自らの学び方、習熟の程度に合わせて取り組んだり、互いのよき考えを生かし協力しながら、学びの達成感・充実感を実感しています。

番号	取り組み内容	要素
1	教育課程におけるICT活用の位置付けを明確化	教科等横断的な視点による活用
2	研修及び訪問支援等の継続実施	ICT支援員による学校のニーズに合わせたサポート、校内研修の実施
3	先進事例の共有や取組事例の収集・周知	事例共有サイトの開設、運用

3 働き方改革の実現に向けて

<目指す姿>
ICTの活用により業務の効率化が図られ、教員が子どもたちに寄り添いじっくりと向き合うことで、子どもたちは思いや考えを表現し、自らの力を伸ばしています。

番号	取り組み内容	要素
1	校務支援システムの最適化、積極的な活用	国・都等の制度変更に対し適宜システム改修を行いながら、教員の負担軽減
2	出退勤システムの運用	教員の在校時間等の適切な把握→働き方の見直しに向けた意識向上
3	校外からの安全な業務	在宅が可能な業務の仕分け及びルールづくり及びネットワーク構成の検討

4 ICT環境整備・セキュリティ対策

<目指す姿>
前述の取組を推進する基盤として、利便性とセキュリティのバランスを図りながら、教育現場をサポートします。

番号	取り組み内容	要素
1	学校のインターネット環境の高速・最適化	インターネット回線の更新、通信ボルトネックの特定・改善
2	教育ネットワークの再構築	学習系、校務系におけるクラウド化の潮流を踏まえ、機器等更新時の構成を検討
3	既存整備の更新と見直し	上記ネットワーク構成に適したサーバ及び端末への更新検討 児童・生徒1人1台端末の整備方向性の検討
4	セキュリティポリシーの継続的な見直し	国のセキュリティポリシーガイドラインとの整合を図る
5	教職員の情報セキュリティ意識の向上	セキュリティに対する意識を確認・醸成するための定期チェックテスト
6	学習データ利活用に関する検討	「学習者用デジタル教科書」「学習eポータル」「MEXCBT」等に国の動向を注視し、市における学力調査のCBT化も視野に入れ、導入・活用を検討